

おきさちさんのコラム ナチュラルクリーニング

〈今回使ったアイテム〉

- シャボン玉スノール
- 酸素系漂白剤 ●重曹
- シャボン玉スノール
純石けん

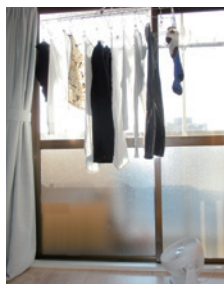


その8 「いい天気！洗濯日和！……なのに花粉が気になって」

花粉症歴が人生の半分以上を占めている私にとって、この季節は憂鬱です。洗濯物を外に干せません。部屋干しのデメリットは、乾きが悪いことによる臭い、そして日光消毒できないことですよね。ポイントは、早く乾かすことと、雑菌の繁殖を抑えること。浴室乾燥機能が欲しいのですが……（残念ながら古ーい賃貸です）。

まず「シャボン玉スノール」でしっかり汚れを落とすのが基本です。乾きを早くするには、日が当たる南向きの窓際に干し、扇風機やサーキュレーターで風を送ると効果的。

臭いが気になるものは、50℃くらいのお湯に洗濯物と「酸素系漂白剤」を入れ、数時間漬けこみます。綿や麻など熱に強い素材は、鍋でぐつぐつ煮るのもオススメ。韓国やヨーロッパでは、この方法はどの家庭でもしているそうで、衣類用の鍋まで売っていたり、洗濯機には温度調節ダイヤルがついていたりすること。



写真はサーキュレーターですが、除湿乾燥機なら鬼に金棒！

ラグなどの敷物に牛乳やアイスクリームなどをこぼされたとき、ほおっておくと臭ったりカビが生えたり……（涙）。この季節でなければ、じゃぶじゃぶ洗って干しますが、今回は外に干さないことを前提に、洗わずにケアする方法をご紹介します。カーペットにも応用可能です。

基本はこぼしたらすぐ、液体なら乾いた布やティッシュなどで吸い取り、つまみ取れるものは取り除きます。その後、重曹水（200ccの水に「重曹」小さじ2、3杯）をスプレーして、さらに布や紙で吸った後、「重曹」の粉を直接振りかけて、汚れと臭いを

吸着します。1時間ほど放置し、汚れを含んだ「重曹」を掃除機で吸い取ります。その後、酢水（水と酢を1:1で混ぜたもの）をスプレーし、「重曹」を中和しながら拭き取るだけ。これで応急処置完了。洗える季節になったら、「シャボン玉スノール純石けん」をこすり付

けて洗えば、汚れは緩んでいるので時間が経っていても簡単に落ちます。それでもチョコレートなどの色素が残ってしまった時は、「酸素系漂白剤」で部分漂白します。シミの上に「酸素系漂白剤」をばらばらとふりかけ、水を少量スプレーして、漂白剤を湿らせ、スチームアイロンのスチームを当てるとシミはきれいに落ちます。その後、水ですすぐか、酢水のスプレーをして「酸素系漂白剤」のアルカリ分を中和するだけ。簡単です。

花粉症の予防で最も大事なことは、花粉を吸わず、家に持ち込まないこと。部屋干しだけではなく、外出後そのまま家に入らないことも大事です。玄関の前で服や足元に付着した花粉を払うこともお忘れなく。花粉を吸着するフリース地の上着もご注意くださいませ（この時期だけはとっても細かくて嫌な人になります、お許しを笑）。

アイスがラグに
落下！



とりあえず取り除く
がまだ残る



重曹水をスプレーし、
重曹の粉をふりふり



興 幸子（おきさちこ）さん

大学で天然物化学を専攻し、製薬メーカー、調剤薬局に薬剤師として勤務。安全で気持ちの良い生活法を提案する「ナチュラル家事」の講師として各地で講演中。薬剤師、社団法人アロマ環境協会認定アロマセラピーアドバイザー、ハウスキーピング協会認定整理収納アドバイザー